

令和8年度「救急の日」及び「救急医療週間」における消防庁の取組

救急企画室

1. はじめに

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。（今年は、9月6日（日）から9月12日（土）まででした。）



2. 令和8年度救急功労者表彰式

消防庁では、9月9日（水）、合同庁舎第二号館地下2階講堂において、一般財団法人救急振興財団 佐々木敦朗理事長及び全国消防長会 市川博三会長に御臨席いただき、令和8年度救急功労者表彰式を挙行了しました。

受賞者の皆様は、永年にわたり、メディカルコントロール体制の充実強化や救急隊員の教育・指導、救急患者の積極的な受入れに御尽力されるなど、各地域の救急医療や救急業務を支えてこられた方々です。

総務大臣表彰は10名、消防庁長官表彰は20名が受賞され、林芳正総務大臣及び大沢博消防庁長官から表彰状が授与されました。（別紙参照）



令和8年度救急功労者表彰 受賞者名簿

●総務大臣表彰

受賞者10名

(五十音順・敬称略)

アカイシ 赤石	タカシ 隆	医療法人社団赤石会 赤石病院 院長	宮城県
アリヨシ 有吉	コウイチ 孝一	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター長	兵庫県
イエツグ 家接	ケンイチ 健一	市立砺波総合病院 救急部長 兼外来診療部外科主任部長 兼内視鏡センター所長 医療技術部栄養科長	富山県
イマムラ 今村	ヒロシ 浩	信州大学医学部救急集中治療医学教室 教授 信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター長 兼集中治療部長 兼臨床工学部長 兼病院長補佐	長野県
カシワギ 柏木	タカヒト 孝仁	一般社団法人宇佐市医師会 副会長 宇佐高田医師会病院 病院長	大分県
スハラ 須原	マコト 誠	岩手県立中央病院 参与	岩手県
ナリマツ 成松	エイチ 英智	札幌医科大学 医学部救急医学講座 教授 北海道病院前・航空・災害医学講座 教授 札幌医科大学附属病院 高度救命救急センター長	北海道
マエダ 前田	タカヒロ 隆寛	医療法人社団淳和会 前田脳神経外科 理事長	静岡県
マツダ 松田	ナオユキ 直之	国立大学法人 東海国立大学機構名古屋大学大学院 医学系研究科救急・集中治療医学分野 教授	愛知県
ミヤケ 三宅	ヤスフミ 康史	帝京大学医学部救急医学講座 客員教授	東京都

●消防庁長官表彰

受賞者20名

(五十音順・敬称略)

アラカキ 新垣	タカシ 健	久米島町消防本部 消防長	沖縄県
ウシダ 牛田	マサミ 雅三	豊橋市消防本部 中消防署長	愛知県
カタオカ 片岡	タツヒコ 竜彦	堺市消防局 総務部 総務課長	大阪府
キジマ 貴島	アキヨシ 章義	出水市消防本部 警防課 消防団係長	鹿児島県
キョウケ 清武	ナオユキ 直志	杏林大学保健学部救急救命学科 特任教授 (元 東京消防庁 赤坂消防署長)	東京都
コシギ 小杉	ヨシヒト 佳人	宇都宮市消防局 東消防署 庶務係長 (元 南消防署長)	栃木県
シカダ 鹿田	ユキト 幸人	鳥取県東部広域行政管理組合消防局 消防局長	鳥取県
タカハシ 高橋	カズアキ 和章	周南市消防本部 消防総務課 課長補佐	山口県
タケガワ 竹川	タダハル 忠治	嶺北消防組合消防本部 消防課参事	福井県
タケダ 武田	サトシ 聡	山形市消防本部 (元 消防次長兼東消防署長)	山形県
タニカワ 谷川	マサヒロ 昌弘	能美市消防本部 寺井消防署 副署長	石川県
トミザワ 富澤	トモミ 朋美	さいたま市消防局 予防部長	埼玉県
トヨオカ 豊岡	マサノリ 正則	新潟市消防局 (元 江南消防署長)	新潟県
ナカヤ 中屋	ケイイチ 恵一	和歌山市消防局 東消防署 警防第2班 班長	和歌山県
ハラ 原	マサミツ 正充	小田原市消防本部 救急課 担当監 (元 小田原消防署 警防第1課 課長)	神奈川県
ヒモリ 檜森	アツシ 敦司	江別市消防本部 消防長	北海道
マエダ 前田	トモハル 友春	福岡市消防局 東消防署 副署長兼予防課長	福岡県
マルヤマ 丸山	オサム 修	熊本市消防局 警防部 警防部長	熊本県
ワタナベ 渡辺	テツオ 哲男	郡山地方広域消防組合消防本部 消防次長	福島県
ワノ 和野	アキヒコ 明彦	久慈広域連合消防本部 (元 久慈消防署 山形分署長)	岩手県

3. 応急手当の普及啓発に関するポスターの作成・配付（制作：一般財団法人救急振興財団）

今年度のポスターは、突然人が倒れる場面に遭遇したときに備えて、その場で勇気をもって一步を踏み出せるように、救急講習を受講し、心肺蘇生法やAEDの使い方などの知識と技術を身につけてほしいという願いをこめて作成されました。

ポスターは一般財団法人救急振興財団を通じて、全国の消防本部や消防関係団体に配付しています。



令和8年度救急の日ポスター

4. おわりに

消防庁では、今後も「救急の日」及び「救急医療週間」を通じて都道府県や市町村、関係機関等と連携し、国民の皆様には救急医療及び救急業務に対する正しい理解と認識を深めていただくとともに、救急業務のより一層の充実強化を図っていきます。

問合せ先

消防庁救急企画室 辻、松田、出口、黒岩
TEL: 03-5253-7529